

**団体名** セレーノ四つ葉（宇部市）

代表者名	江本 真弓	団体の目的
構成員数	44人	肢体不自由児の育児に係る不安やストレス、孤立感の解消を図るため、保護者同士の情報交換、勉強会、リフレッシュ活動、地域社会との結びつきの強化に資する活動を行う。
設立	2018年(H30)年4月	
問い合わせ先	☎090-8608-4283（村田）	

**事業名** バギー型車いす認知度アッププロジェクト

**事業の目的** ・子供用車いす（バギータイプ）の存在を多くの人に知ってもらい、子供用車いすや車いすで外出がしやすい社会、誰もが暮らしやすい社会になるための一助とする。

**事業の内容**

- ・子供用車いす（バギータイプ）の広報活動
  - 期間：4月～3月
  - 内容：ポスター、パンフレットを作成し、宇部市、社会福祉協議会（宇部市、下関市）、教育委員会（宇部市、山陽小野田市、美祢市）などに配布
- ・子供用車いすマークケースの作成
  - 期間：7月～3月
  - 内容：7月から試作品の作成を始め、問題点を改善して、3月に完成
- ・周知活動
  - 実施日： 9月28日 ハッピートゥギャザーに参加
  - 10月 6日 家族みんなのフェスタ出展
  - 10月19日 県民フェスタ出展

**事業の成果**

- ・周知活動により、車いすを使う子ども達をはじめ、障害のある子ども達への理解を深めることができた。
- ・子供用車いすマークケースを取り付けることで、バギー型車いすを使う子どもやサポートする親に安心を提供することができた。

**活動現場レポート！** 子供用車いすマーク用ケースの作成打ち合わせ（R1.11.28/セルブ南風）

この日は、ベビーカーに間違われやすい子ども用車いすのマークを普及させるため、「子ども用車いすマークケース」作成の打ち合わせが、セルブ南風（就労支援施設）で行われました。予め当団体でモデルを用意され、それをもとに、南風の職員と製作される施設通所者で意見交換をされました。車いすに常時装着するため、撥水加工の布を使用しているほか、緊急連絡先カードを収納できる内ポケットも付けるなど、工夫されていました。

会では、他県にはないオリジナルな子ども用車いすマークケースを作成し、障害のある人のご家族に配布し、マークを車いすにつけて気兼ねなく外出できる環境を整えたいと意欲的でした。



打ち合わせの様子



会員が作成した試作品